

2023年12月期第1四半期 決算説明会資料

2023/5/12



東海カーボン株式会社

目次

I 2023年12月期第1四半期決算概要 P 3-13

参考資料 P14-17

I

2023年12月期第1四半期

決算概要

- 国際通貨基金（IMF）は、4月11日、2023年の世界経済成長率予測を2.8%と、3カ月前より0.1ポイント引き下げ。米国のリセッション（景気後退）懸念が拭えず、欧州経済も停滞する中、欧米の金融システム不安などのリスク要因は基本的に織り込まれておらず、不確実性の増大とともに、幾つかのダウンサイド・シナリオも示唆
- 金融引き締めとそれに伴う金融システム不安といった金融面での問題が、世界経済の大きな下振れリスクとなる中、当社業績は、前年同期比で売上高24.5%増、営業利益44.8%増、経常利益40.4%増及び親会社株主に帰属する四半期純利益96.9%増と大幅な増収増益。上期業績予想に対する進捗率は、売上高43.7%、営業利益57.5%、経常利益59.0%及び親会社株主に帰属する四半期純利益72.4%といずれも堅調に推移
- キャッシュベースの稼ぐ力をはかる重要指標のEBITDAは200億円と前年同期比で44億円増（+28.4%）、EBITDAマージンは23.2%（前年同期比+0.7%）と引き続き20%をクリア
- 黒鉛電極事業は、鉄鋼生産の一部に弱い動きが続いており、回復は緩やかな一方、脱炭素に向けた電炉シフトを背景に、米国需要は大口径品を中心に旺盛。ウクライナ危機に伴うマクロ経済の悪化から欧州需要は引き続き低迷、日本・アジアにおける競争は一層激化。需要反転の取り込みを確実なものとするため、最適な3極生産体制を構築する
- カーボンブラック事業は、米国環境基準を満たすための設備投資（排ガス洗浄装置など）とそれに伴う設備トラブルの影響を受けた昨年から大きく回復、旺盛な米国需要を取り込み。日本、タイ拠点でも堅調な自動車タイヤ需要を背景にフル稼働
- ファインカーボン事業は、各国の景気後退懸念を受けた半導体需給の緩和に加え、米国対中輸出規制による市場の不透明感が一層増す中、韓国子会社の半導体製造装置向けの高付加価値部材の需要が減少。一方、EV向け半導体や再生可能エネルギー用半導体の需要は引き続き堅調に推移。引き続き、先進運転支援システム（ADAS）や電気自動車（EV）の急成長を受けて中核部品であるパワー半導体市場向けSiC半導体の需要は増大
- スメルティング&ライニング事業は、引き続き、グローバルでの堅調なアルミ生産やアルミ電解炉の改修意欲を背景とした黒鉛化カソードの旺盛な需要を取り込み。ゼロコロナ政策終了を受けた中国の経済再開が期待される中、高炉の改修需要は回復の兆し
- 格付投資情報センター（R&I）は、当社事業ポートフォリオの充実による収益力の底上げや財務基盤の強化を踏まえ、発行体格付をA-〔格付の方向性：ポジティブ〕からA〔格付の方向性：安定的〕へ引き上げ

- カーボンブラックを中心に主要事業が堅調に推移し、前年同期比で増収増益
- 売上高 865億円（前年同期比+24.5%） 営業利益114億円（同+44.8%） ROS 13.3%（同+1.9%）

（百万円）

	2022年1-3月	2023年1-3月	増減額	増減率
売上高	69,512	86,530	+17,017	+24.5%
営業利益	7,938	11,493	+3,554	+44.8%
経常利益	8,406	11,804	+3,397	+40.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,044	7,964	+3,919	+96.9%

連結対象会社（2023年3月末現在）

- 連結子会社 31社
- 持分法適用会社 1社

1-3月平均為替レート

- 2022年 USD1= ¥116.2
EUR1= ¥130.39
- 2023年 USD1= ¥132.34
EUR1= ¥142.10

セグメント別売上高・営業利益・EBITDA

6

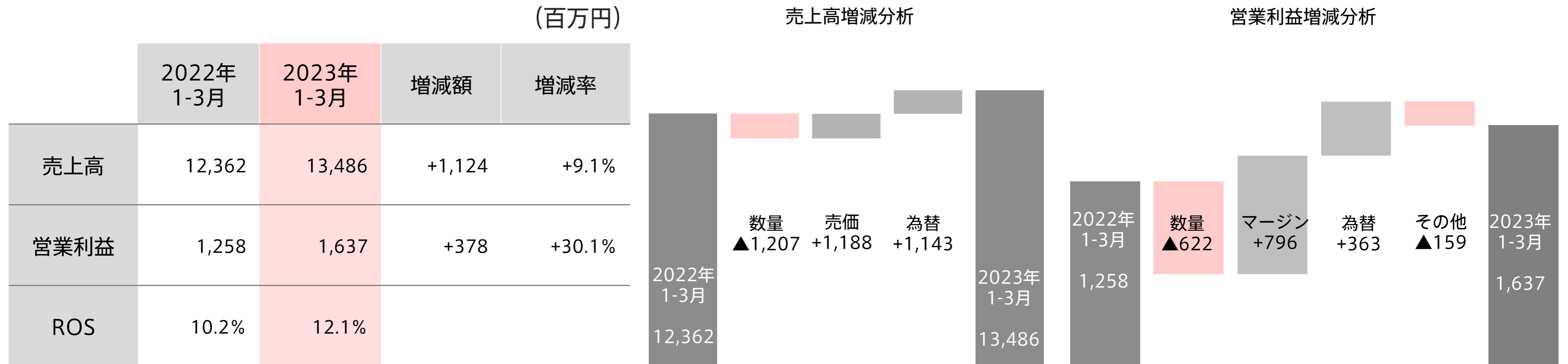
■ 主要4セグメントで増収増益、EBITDA増

(百万円)

	売上高			営業利益			EBITDA		
	2022年1-3月	2023年1-3月	増減額	2022年1-3月	2023年1-3月	増減額	2022年1-3月	2023年1-3月	増減額
黒鉛電極	12,362	13,486	+1,124	1,258	1,637	+378	2,535	2,975	+440
カーボンブラック	29,430	37,406	+7,975	3,049	5,757	+2,708	4,616	7,583	+2,967
ファインカーボン	10,935	11,444	+509	2,912	3,103	+190	4,382	4,767	+385
スメルティング& ライニング(SL)	11,605	19,218	+7,613	67	408	+340	3,171	3,870	+699
工業炉関連	2,523	2,449	▲73	763	534	▲228	820	616	▲204
その他	摩擦材	2,290	2,460	+169	—	—	—	—	—
	負極材	330	29	▲301	—	—	—	—	—
	その他	34	33	▲0	—	—	—	—	—
計	2,655	2,523	▲132	201	301	+99	312	415	+103
調整	—	—	—	▲314	▲249	+64	▲185	▲133	+52
合計	69,512	86,530	+17,017	7,938	11,493	+3,554	15,653	20,095	4,442
売上高比率	—	—	—	11.4%	13.3%	+1.9%	22.5%	23.2%	+0.7%

※EBITDA =営業利益+減価償却費+のれん償却費

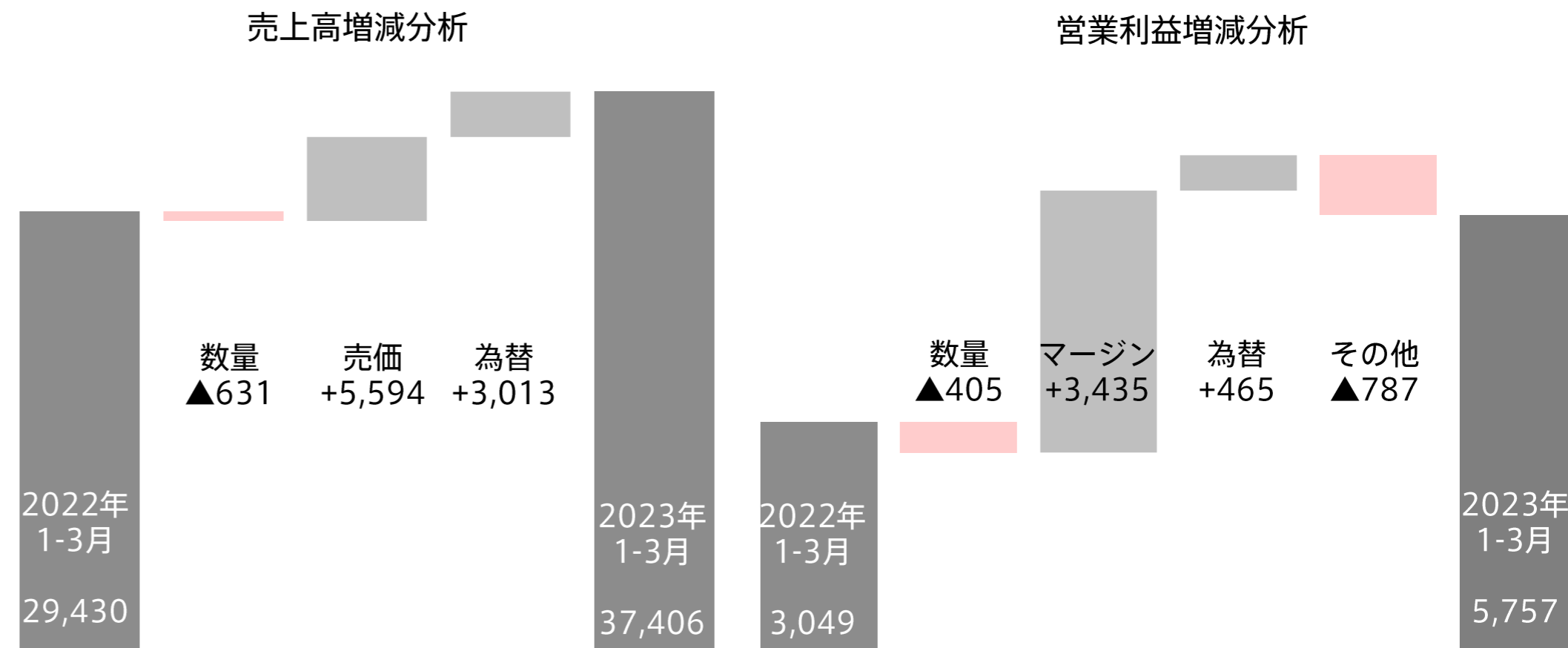
- 世界的な景気動向の不透明感による鋼材需要の下振れから電極市況は軟調に推移
- 地域別では、欧州、日本が弱含みである一方、米国では大口径品を中心に販売堅調
- 日本、アジアにおける競争は一層激化、需給環境を見極めながら、最適な生産体制構築により価格を維持



- 世界経済減速の懸念がある中、北米のタイヤ向けは堅調に推移
- 環境設備投資コスト等の売価への反映と生産性改善効果現出により増収増益

(百万円)

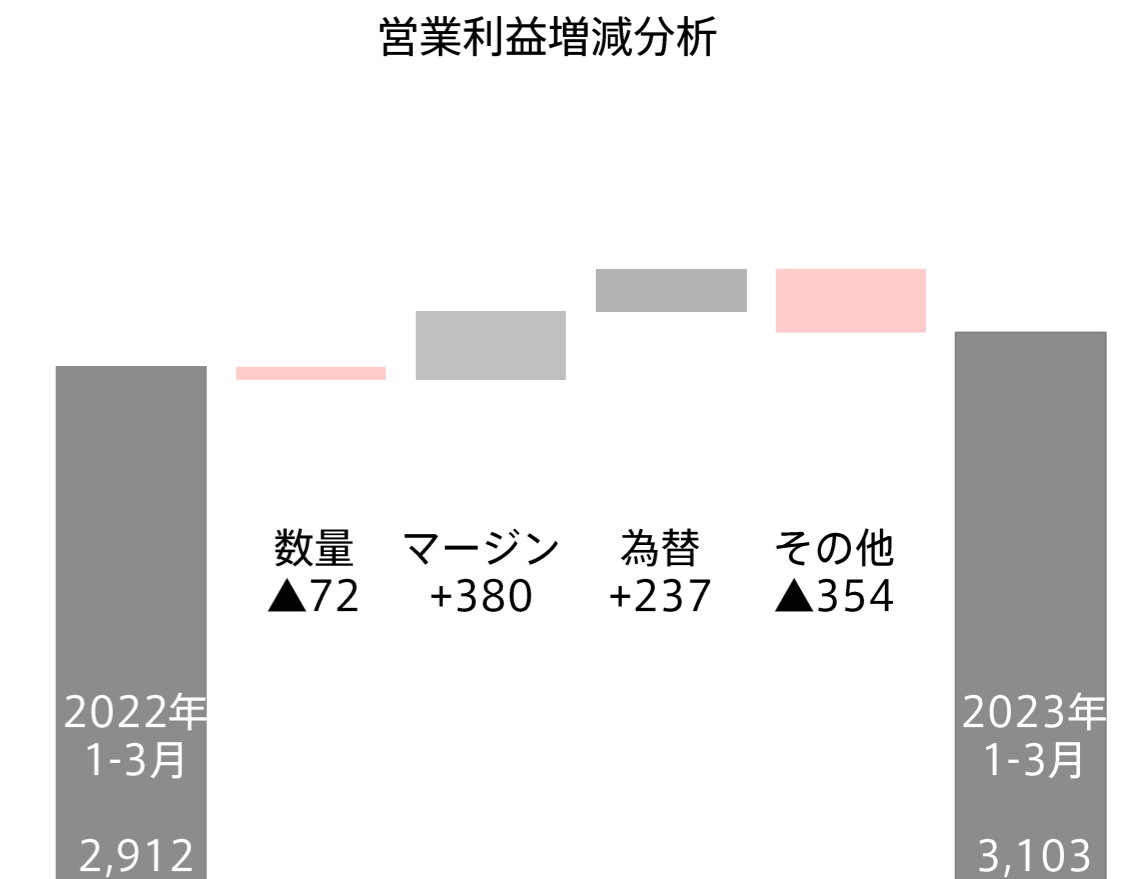
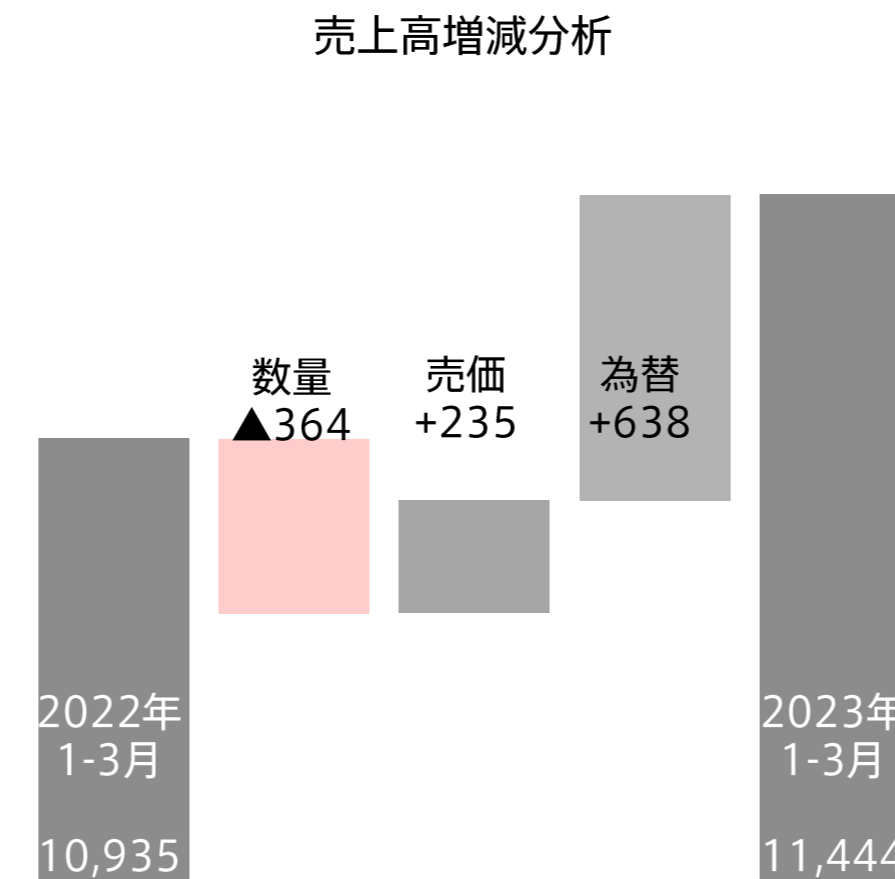
	2022年 1-3月	2023年 1-3月	増減額	増減率
売上高	29,430	37,406	+7,975	+27.1%
営業利益	3,049	5,757	+2,708	+88.8%
ROS	10.4%	15.4%		



- 半導体製造のエッチング工程で使用されるソリッドSiC（シリコンカーバイド）製フォーカスリングがメモリー市況悪化の影響を受けるも、EV向け半導体や再生可能エネルギー用半導体の需要は引き続き堅調に推移
- 2023年の半導体市場は一時的な縮小を見込むも、中長期的な市場の拡大に向け成長投資を継続

(百万円)

	2022年 1-3月	2023年 1-3月	増減額	増減率
売上高	10,935	11,444	+509	+4.7%
営業利益	2,912	3,103	+190	+6.6%
ROS	26.6%	27.1%		

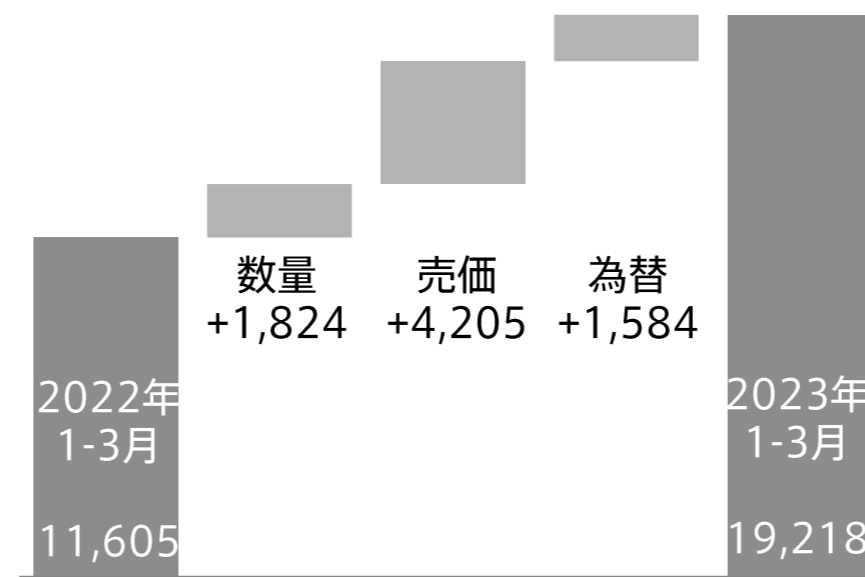


- 欧米におけるエネルギー価格高騰に伴う中東の製錬ライン増設により、主力のカソードブロックが堅調に推移
- 中国の経済再開が期待される中、高炉の改修需要は回復の兆し
- 欧州市場の原料・エネルギーコスト高騰、インフレによる労務費上昇は、製品価格への転嫁と生産効率改善で吸収、のれん等償却費を除いた営業利益31.1億円 (ROS16.2%)

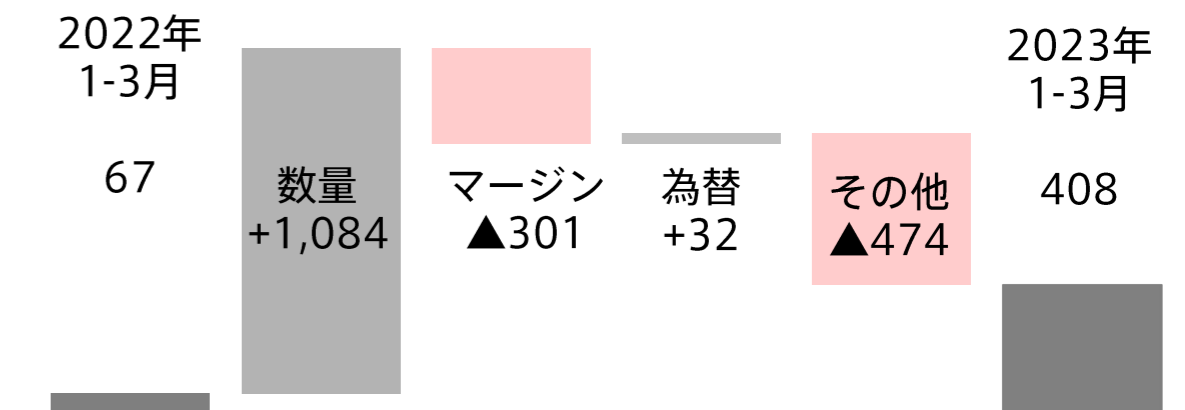
(百万円)

	2022年 1-3月	2023年 1-3月	増減額	増減率
売上高	11,605	19,218	+7,613	+65.6%
営業利益	67	408	+340	+506.4%
ROS	0.6%	2.1%		

売上高増減分析



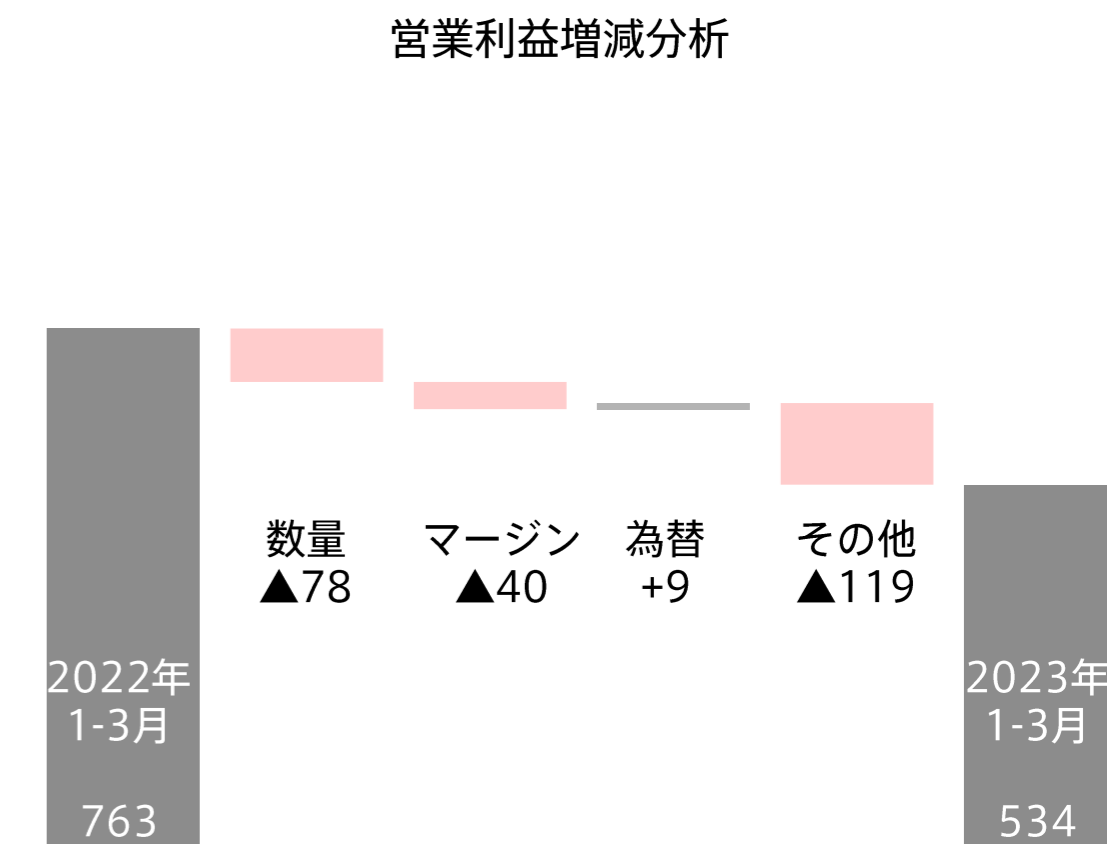
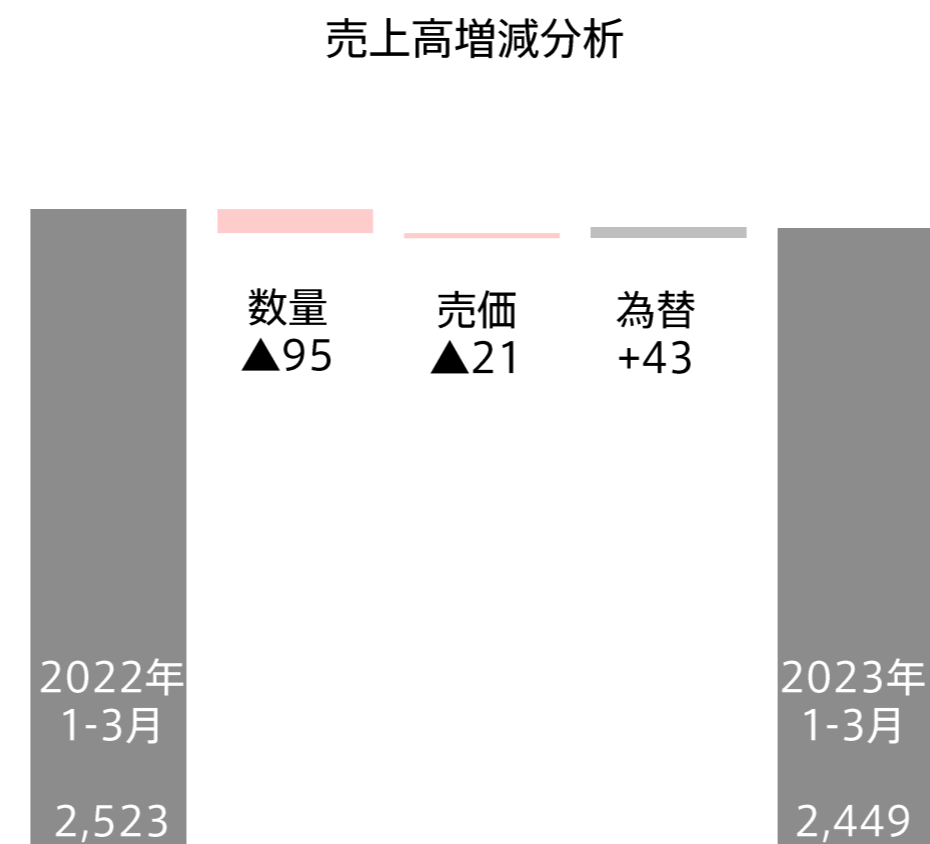
営業利益増減分析



- スマートフォン需要の減速に伴う民生用電子部品業界の低迷を受け、エネルギー関連業界向けの需要自体は引き続き堅調
- 積層セラミックコンデンサ（MLCC）、リチウムイオン電池（LiB）電極材の中長期的な市場の拡大を睨み工業炉と発熱体共に成長投資を継続

(百万円)

	2022年 1-3月	2023年 1-3月	増減額	増減率
売上高	2,523	2,449	▲73	▲2.9%
営業利益	763	534	▲228	▲29.9%
ROS	30.2%	21.8%		



主なキャッシュフロー項目

(百万円)

	2022年1-3月	2023年1-3月	概要
営業活動によるキャッシュフロー	4,324	7,745	
税金等調整前当期純利益	8,335	11,977	
減価償却費	5,951	6,679	
のれん償却額	1,762	1,922	
売上債権増減	3,071	2,897	} 運転資本 ▲77億円 (前期▲67億円)
棚卸資産増減	▲8,985	▲5,863	
仕入債務増減	▲862	▲4,760	
法人税等の支払額その他	▲4,948	▲5,107	
投資活動によるキャッシュフロー	▲8,127	▲11,558	
有形固定資産取得	▲7,673	▲12,957	
財務活動によるキャッシュフロー	▲5,334	▲2,152	
借入金増減(CP含む)	▲1,894	1,376	
配当金の支払	▲3,197	▲3,197	
現金及び現金同等物期末残高	57,507	44,032	

※運転資本=売上債権+棚卸資産-仕入債務

主な貸借対照表項目

(百万円)

	2022年12月末	2023年3月末	概要
資産合計	576,465	582,246	
流動資産	246,691	245,482	
現預金	70,909	63,425	<ul style="list-style-type: none"> ・現預金月商比率 2.2倍 (前期末2.5倍) ・棚卸資産 前期末比+73億円 ・有形固定資産 前期末比+73億円 ・無形固定資産 前期末比▲22億円
受取手形・売掛金	65,197	62,911	
棚卸資産	101,330	108,673	
固定資産	329,773	336,763	
有形固定資産	181,948	189,334	
無形固定資産	118,839	116,605	
投資その他の資産	28,986	30,823	
負債合計	275,596	270,163	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット有利子負債 1,095億円 (前期末比+90億円) ・有利子負債 1,729億円 (前期末比+15億円) ・直接調達比率 66.5%(前期末67.1%)、長期比率 57.1%(前期末52.9%) ・短期融資枠660億円 (前期末比+0億円) : 借入実行額60億円 (前期末比+0億円) ・債権流動化・CP発行限度枠780億円 (前期末比+0億円) : 借入実行600億円 (前期末比+0億円)
流動負債	146,696	131,416	
固定負債	128,900	138,747	
純資産合計	300,868	312,082	<ul style="list-style-type: none"> ・自己資本比率48.1%(前期末46.6%) ・調整後自己資本比率※ 54.1%(前期末52.7%) ・ネットD/Eレシオ 0.4倍 (前期末0.4倍) ・調整後ネットD/Eレシオ 0.2倍 (前期末0.2倍)
株主資本	218,761	223,527	
その他包括利益累計額	50,065	56,252	
非支配株主持分	32,041	32,302	
負債純資産合計	576,465	582,246	

※調整後自己資本比率、調整後ネットD/Eレシオとは、ハイブリッドファイナンスでの格付機関からの資本性認定を考慮した自己資本比率、ネットD/Eレシオです

參考資料

(百万円)

子会社	2022年 1-3月	2023年 1-3月	増減額	所在地・事業	備考
Tokai Erftcarbon	4,593	3,046	▲1,547	ドイツ 黒鉛電極	
Tokai Carbon GE	5,128	8,267	+3,138	アメリカ 黒鉛電極	・2017年11月より連結寄与
Thai Tokai Carbon Product	6,248	7,211	+962	タイ カーボンブラック	
Tokai Carbon CB	13,404	17,611	+4,206	アメリカ カーボンブラック	・2018年9月より連結寄与
Cancarb	2,146	2,288	+142	カナダ カーボンブラック	
Tokai Carbon Korea	7,508	6,623	▲885	韓国 ファインカーボン	・2018年6月より連結寄与
Tokai COBEX	11,649	19,291	+7,642	ドイツ SL	・2019年8月より連結寄与

(百万円)	2019	2020	2021	2022	2023 (予想)
売上高	262,028	201,542	258,874	340,371	410,000
営業利益	54,344	7,858	24,647	40,588	45,000
ROS (%)	20.7%	3.9%	9.5%	11.9%	11.0%
EBITDA	77,053	35,262	54,518	75,572	81,000
EBITDA マージン (%)	29.4%	17.5%	21.1%	22.2%	19.8%
親会社株主に帰属する純利益	31,994	1,019	16,105	22,418	26,000
ROE (%)	16.0%	0.5%	7.5%	9.0%	9.5%
ROIC (%)	13.1%	1.6%	4.8%	7.1%	7.0%
設備投資額	24,341	28,873	30,347	48,150	63,000
減価償却費	18,503	20,890	22,900	27,460	28,000
研究開発費	2,460	2,682	2,823	3,171	4,000
有利子負債	148,030	158,643	168,249	171,452	—
ネットD/Eレシオ	0.5	0.5	0.4	0.4	—
調整後ネットD/Eレシオ	0.3	0.2	0.2	0.2	—
従業員数 (人)	3,714	4,178	4,289	4,378	—
為替レート (JPY/USD)	109.05	106.82	109.80	131.43	130

※ EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん償却費,

※ ROIC = 税引き後営業利益 ÷ 投下資本 (運転資本+固定資産)

セグメント別業績推移 (四半期ベース)

17

(百万円)

	2022					2023			
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2f (*)	下期	通期
売上高	69,512	87,558	89,261	94,038	340,371	86,530	111,470	212,000	410,000
黒鉛電極	12,362	16,802	14,502	15,963	59,630	13,486	17,514	40,000	71,000
カーボンブラック	29,430	34,298	39,621	35,134	138,484	37,406	44,594	84,000	166,000
ファインカーボン	10,935	12,760	13,127	12,569	49,393	11,444	13,556	27,000	52,000
スメルティング& ライニング (SL)	11,605	15,001	16,148	22,448	65,203	19,218	25,782	44,000	89,000
工業炉関連	2,523	6,381	3,018	4,348	16,272	2,449	6,551	11,000	20,000
その他									
摩擦材	2,290	2,202	2,341	2,528	9,362	2,460	3,040	5,500	11,000
負極材	330	78	465	1,012	1,888	29	471	500	1,000
その他	34	33	34	33	136	33	▲33	0	0
その他計	2,655	2,315	2,842	3,575	11,387	2,523	3,477	6,000	12,000
営業利益	7,938	8,778	11,297	12,573	40,588	11,493	8,507	25,000	45,000
黒鉛電極	1,258	1,666	2,378	2,728	8,032	1,637	▲637	5,000	6,000
カーボンブラック	3,049	1,735	4,201	3,295	12,282	5,757	2,243	8,000	16,000
ファインカーボン	2,912	3,874	4,312	3,726	14,825	3,103	3,897	9,000	16,000
スメルティング& ライニング (SL)	67	▲71	▲301	1,650	1,345	408	592	1,000	2,000
工業炉関連	763	1,754	790	1,166	4,475	534	2,466	3,000	6,000
その他	201	186	312	409	1,108	301	699	0	1,000
調整	▲314	▲367	▲395	▲402	▲1,480	▲249	▲751	▲1,000	▲2,000

(*) 2023Q2f: 2023年Q2数値は2023年12月期の上期予想からQ1の実績を控除して表示しております

- 本資料に掲載されている将来見通しの記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因の仮定を前提としています。
- 実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原材料価格、製品の需給動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 本資料中の定量目標、参考値、投資額等は、あくまでビジョン、中期的戦略等を示すものであり業績予想ではありません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
- 正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく決算短信での開示をご参照ください。

IRに関する連絡先
総務部 TC-IR.new@tokaicarbon.co.jp



Building a Future of Technology and Trust
TOKAI CARBON CO., LTD.